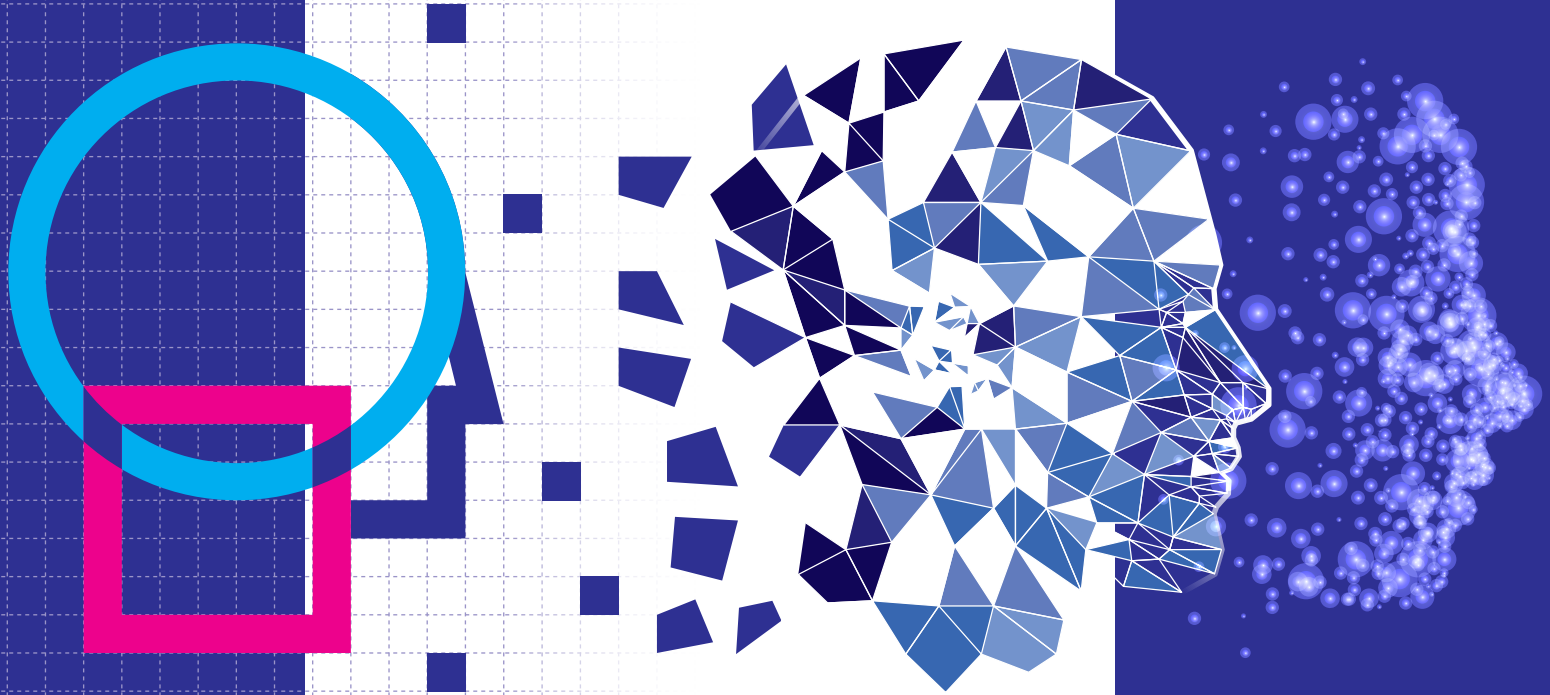
国際総合科学部
FACULTY OF GLOBAL AND SCIENCE STUDIES



2021

WELCOME TO FGSS

山口大学
国際総合科学部長

川崎　勝
Kawasaki Masaru

21世紀のパンデミックCOVID-19は世界全体に甚大な影響を与え続けていますが、大学もまた例外ではあり得ませんでした。特に本学部は、重要な特徴である留学に厳しい制約が課されたことが直接的なきっかけで、これまでの学部教育のあり方を再考する必要に迫られました。

視野を広げてみるならば、史上初のパンデミック（＝世界的大流行）と呼べる14世紀のペスト以来一貫して、「世界の一体化＝グローバル化」と「パンデミック」は拮抗しながら歴史を動かしてきました。今回のCOVID-19の事例も、世界の隅々まで一斉に蔓延したのは、21世紀初頭以来これまでに例のない規模のグローバル化が急激に進行したことに起因します。こうした事態に直面し、私たちは、「グローバル化とは何か」という問いに改めて真摯に向かい合うとともに、多様な形態の世界との交流を4年間の学部教育に組み込んでいくことを決意しました。国際総合科学部は、これから「新しいグローバル教育」を強力に推進していきたいと思います。

また、グローバル化対応と並んで本学部での教育が重視しているのは、急激に変化していく極めて複雑な現代社会の諸課題に、主体的かつ積極的に挑んでいくことができる能力の涵養です。高校までの教育課程では理系・文系の二分法や、教科・科目間の高い壁が厳然と存在していますが、現代社会の諸課題は、昨今流行りの事例を上げれば、例えば「SDGs」にしても、「カーボン・ニュートラル」にしても、特定分野の知見だけでは決して達成することはできません。現代社会の森羅万象は、諸々の人工的な垣根を越えて、すべて複雑に絡み合っているからです。必然的に、基本的な数理的・科学的知見を備えた上で、多様な分野を横断的に結びつけていくコーディネータが必要になります。本学部はそのような学際的・総合的な能力を修得することを目的としています。それが本学部が学部名に「国際」と並んで「総合科学」を冠している理由です。

国際総合科学部に関して、このパンフレットだけでは語り尽くせないことがまだまだあります。是非、本学部のWebサイト※にも足を運んでみてください。

※ http://gss.yamaguchi-u.ac.jp/

国際総合科学部
FACULTY OF GLOBAL AND SCIENCE STUDIES

山口大学は、1815 年に創設された私塾「山口講堂」を起源とし、地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された日本で３番目に歴史ある大学です。

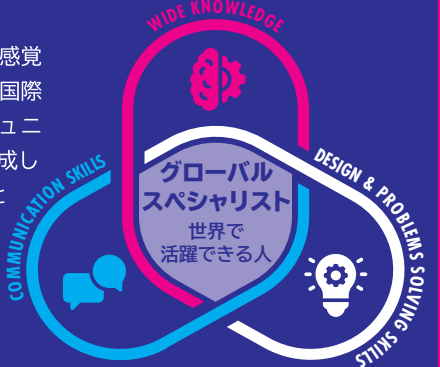
2015 年には、私塾「山口講堂」創設から創基 200 周年を迎え、その年に第９番目の学部「国際総合科学部」が誕生しました。

国際総合科学科 １学部１学科
定員 １学年 100 名

国際総合科学部の養成する人材像

文理の枠を超えた幅広い知識を有し、日本語・英語等の言語をツールとした高いコミュニケーション能力と、デザイン思考による課題解決能力を持つグローバル人材を養成します。

１年間の海外留学で、国際感覚や異文化理解力を身に付け、国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力と共働力を育成します。また、企業や自治体と連携したプロジェクト型課題解決研究により、実践的な課題解決能力を鍛えます。これらのカリキュラムを通じて、国際舞台や地域社会の現場で直面する困難な問題を解決し、新しい価値、新しい社会を創造するグローバル人材を育てます。



FGSS における「デザイン」とは？

「デザイン」は、「設計する・計画する・企画する」といった意味ですが、その対象は、単にモノの色や形を越えて、新しい価値・体験・生活を含みます。これらのデザインを通じて、社会あるいは企業等の組織が抱えるさまざまな課題を解決することを狙いとしています。

幅広い知識とその活用能力	コミュニケーション能力と共働力	デザインを通じた課題解決能力
思想・文化や政治・経済また科学技術リテラシーなど幅広い知識を身に付け、それらを活用する能力を身に付けます。	「日本語・英語等の言語」をツールとした優れたコミュニケーション能力を持ち、様々な文化的背景を持つ人々を理解し、ともに活躍することが出来る能力を身に付けます。	山口大学の教育理念「発見し・はぐくみ・かたちにする」を「観察、分析、価値提案、設計、実装、評価」というデザインプロセスの中で実践します。

国際総合科学部での日々

学部概要

交換留学とグローバルイヤー

交換留学とグローバルイヤーについて

今、グローバル教育は、必ずしも留学すればそれでいいという時代ではなくなっています。むしろ、世界に存在する多様な価値をいかに理解し、すり合わせる能力を身につけるかということこそが問われているのです。単に留学するだけのグローバルから、多様な価値観をすり合わせる能力を身につける「ニューグローバル」への転換。それこそが新しい時代のニーズだといっていいでしょう。

そこで本学部でも、２年生後期から３年生前期の１年間を「グローバルイヤー」として位置づけ、課題解決のためのグローバルな視点（以下、「グローバル思考」）を身につけるための期間として設定することにしました。この期間は、１年間の交換留学への参加を原則にしつつも、短期の留学、インターンシップ、オンライン留学などへの参加、グローバル思考醸成に重きを置いた授業の履修といった様々な形態を組み合わせながら、グローバル思考を身につけるための学びを各自で設計していけるように指導しています。

具体的に大学が提供する交換留学プログラムとしては、世界各国の様々な国・地域にある海外の協定大学での１年間の長期留学を基本としつつ、半年単位での留学も選べるようにしています。したがって、別の国に半年ずつ留学することも不可能ではありません。また、オンライン留学を選択したり、それと渡航留学を組み合わせることもできます。

なお、世界のどの国・地域の大学を選んでも、英語で授業を受けることができます。場所によっては、英語以外のその国の言語を習得することもできます。

以上のような柔軟な留学制度、そして仮に留学しなくてもグローバル思考が身につくプログラムを用意することで、パンデミックをはじめますます不確実化する国際社会にあっても、本学では安心して勉学に勤しんでもらえるよう工夫しています。

２０２２（令和４年度）入学者からのカリキュラムを変更する予定です。

交換留学とグローバルイヤー

オンライン留学

2019年入学 田中 優香
Kauai Community College
(Hawaii, US)

私は、ホスピタリティー＆ツーリズムという学部の授業を履修しました。時差のため朝４時から授業が始まるので、大変ではありましたがとても良い経験ができたと感じています。より良いサービスとはどのようなものかについて様々な視点から学んだり、ペアになって意見を出し合ったり、グループでプレゼンをしたりしました。ハワイだからこそ学べる内容などがあり、とても楽しみました。慣れていないオールイングリッシュの授業は、ついていくことに必死になりましたが、その分成長を感じられ、もっと頑張ろうという気持ちになりました。オンラインの留学ではありましたが、日本の大学では経験できないことが経験できたため満足しています。

2021年度から、
海外の大学のオンライン授業
を受講できるブースも学内に
設置されます。

詳しくは、２０２１年７月頃　学部Ｗｅｂサイト等で公表します。

国際総合科学部での日々

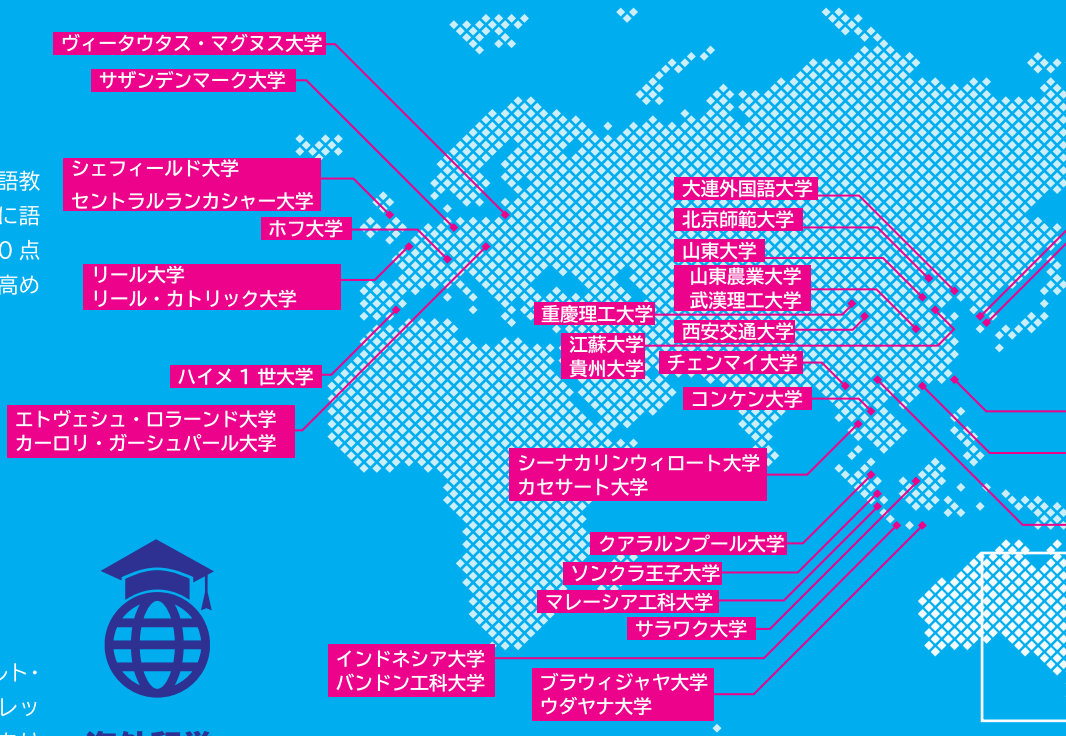
海外留学

短期語学研修

１年生の夏に１ヶ月間、アジアの英語教育の中心となったフィリピンのセブ島に語学研修に行きます。TOEIC(L&R)600 点相当以上を目指し、徹底的に英語力を高めます。

ディズニー国際カレッジプログラム

１年間の留学には、アメリカのウォルト・ディズニー社が行うディズニー国際カレッジ・プログラムに参加できるコースもあります（成績・面接による審査があります）。半年間、インターンシップを行い、その後は、近隣の協定校であるヴァレンシア大学で学びます。



海外留学

２年生の秋から３年生の夏までの１年間、海外留学に行きます。国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーションスキルを身につけます。（留学には、TOEIC(L&R)600 点または IELTS(over all)5.0 以上、GPA2.0 以上および協定校で設定されている IELTS 等の受け入れ基準をクリアする必要があります。）

海外留学

グローバルに活躍するために“日本を知り、世界を知る”

海外インターンシッププログラム

海外留学後は、英語で行われる専門科目の講義を受講することで、更なる英語力の向上を図りますが、語学力やコミュニケーション能力を生かして台湾・韓国の企業で短期インターンシップ・プログラムにも参加できます。施設見学や業務の一部を担う就業体験によって、日本とは異なる企業文化に触れることができます。

グローバルに活躍するために、必要となる能力。それは、語学に留まらないコミュニケーション能力及び海外の国々と日本に関する知識です。海外留学を通して留学先の歴史等に触れながら、国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーション能力を磨きます。また、海外においてしっかり日本を発信できるよう、日本社会及び文化についても学びます。

留学体験者の声（アウトバウンド）

私が留学した台湾はとても親切な人が多く、特に日本文化に関して強い関心を持っていました。私は中国語がほとんど話せませんでしたが一緒にスポーツをしたり、日本の文化について話したりと言語の壁を超えたコミュニケーションができるのだと感動しました。また台湾においてインターンシップを経験しました。専門的な知識がなくて困惑することもありましたが、担当の職員さんが私たちを親切にサポートしてくださったおかげで気軽に参加できました。

「オクラホマってどこ？あのオクラホマミキサー？」このフレーズは、私が留学の話をすると毎回聞かれる言葉です。留学で私が得たものは、「挑戦する楽しさ」です。しかし、日本で当たり前にできる些細なことが、とても難しく感じることも多くありました。それでも、１つ１つ毎日色々な挑戦を重ねていくことで、自分の成長を実感できるようになり自信になりました。今でも連絡を取り合うルームメイトや、私に刺激をくれる他国の友人の存在は、かけがえのない私の大切な宝物です。

国際総合科学部での日々

学部公認サークル FGSSER

FGSSER（ふぐさー）は、学部生と留学生間の交流の場を設け、お互いに充実した大学生活を実現するために活動している学部公認サークルです。

学部主催の国際交流イベントを支援するのに加えて、学生だけで独自のイベントを企画し運営している点が特徴です。

学年や国籍といった垣根を超えて、グローバルかつアットホームな雰囲気で異文化交流を促進しています。

国際総合科学部では、年間 90 名程度の交換留学生を受け入れています。留学生と一緒に授業を受けるだけでなく、様々な交流イベントも実施しています。 留学以外にも多種多様な文化に触れる機会があり、コミュニケーションスキルの向上だけでなく、異文化理解を深めグローバル・スペシャリストの素養を身につけることも期待できます。

留学生の声（インバウンド）

イギリス

イートン シャアロット メイ

山口大学への留学はすばらしい経験です。この留学を通して、出身もさまざまで多様な背景を持つ友達ができました。これらの友達とすばらしい先生に出会えたことは、勉強だけでなく人間的な成長にもつながりました。自分自身と日本について新しい知識を得ただけでなく、思い出もたくさんできました。山口大学はすばらしいところで、助けが必要なときはいつもサポートをしてくれます。国際総合科学部での時間を楽しんでいます。

My time abroad in Japan been a wonderful experience. During my time here I have made many friends of varying backgrounds and nationalities. Meeting all these people along with the amazing teachers, has benefited both my educational and personal growth. Not only have I come away with new knowledge about myself and Japan, I have many new memories too. The university is fantastic and always provides support when I need it. I am enjoying every second of my time here and I still have half a year left.

マレーシア

ムハンマド カイユム ハキム ビン ハミディ

留学について、最初は準備不足だと思って躊躇（ちゅうちょ）していました。ですが、このような機会はめったにないし、自分の国では経験できないことを体験するなんて、人生に一度のチャンスだと思い直しました。結果として、文化が全く異なる国での経験、新しい人との出会いをもたらしてくれた山口大学への留学は興味深い経験になりました。日本で生活することに苦労もありますが、よりよい人間になるための人生の挑戦だと思っています。自分の住み慣れた環境を離れることは、自立し、本来の自分を見つめることにつながります。また、国際総合科学部の授業は、国際的な問題を扱うだけでなく、身体的・精神的な人としての成長につながる内容が含まれています。これは周囲の人を理解するのに役立つと思います。当初は迷っていた留学ですが、今は国際総合科学部に留学したことに何の後悔もありません。

At first, I was hesitated to study abroad as I feel I am not ready for it yet. After giving a second thought, this opportunity does not always come and it is a once in a lifetime chance to experience something I never had in my home country. It turned out to be a fascinating adventure where I met new people and experiencing a completely different culture. Despite the struggles of living in another country, I see it as a challenge for myself to be a better person. This is the moment to leave my comfort zone, be independent and become my true self. Additionally, the course in this faculty is not all about the global issues but the potential of personal growth for both physically and mentally. It helps you to understand the people around you better. I believe this is the decision I have no regrets choosing.

プロジェクト型課題解決研究

概 要

国際総合科学部では、３年次の後半から４年次にかけて、従来の「卒業研究」に代えて、「プロジェクト型課題解決研究」(Project Based Learning: PBL) を実施しています。これは実社会で多様な主体と連携しつつ課題解決できる人材を育成することを目的として、社会が抱える諸課題を解決するためのプロジェクトを学生が企業、地方自治体、NPO法人等と協力して行おうとするものです。

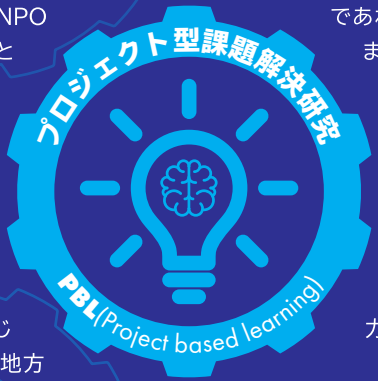
コース

実施するプロジェクトは、プログラム・コースとオリジナル・コースからなります。プログラム・コースは、あらかじめ協力を依頼する企業や地方自治体、NPO など（パートナー）が決まっており、オリジナル・コースは学生自らが地域でパートナーを探します。いずれのコースも、学生とパートナーが協議のうえ、プロジェクトを企画・実践し、課題の解決を目指します。

活動

プロジェクトの活動は、学生がこれまでに学んだデザイン思考に基づいて、学生自身が主体的に行います。担当教員の役割は、週に１回、現在の活動状況や今後の活動方針の確認を行い、課題解決のために必要な情報の収集方法（文献や資料の探し方、専門的な知識・ノウハウを持っている人を紹介する等）や問題を抱えているようであれば適宜アドバイスをします。

学生自らが複数の専門分野にわたる知識や情報を習得・融合・活用する事を促し、これからの時代に必要とされる課題解決能力や新たな価値創造を行う能力の涵養を図ります。



国際総合科学部での日々

2021 年度 PBL 協力自治体・企業等

企業との連携（11 組）

- 大嶺酒造株式会社
- 株式会社 QQ English
- 株式会社サーティファイ
- 株式会社三和
- 株式会社 JTB 山口支店
- トヨタカローラ山口株式会社
- 株式会社トヨタレンタリース山口
- 株式会社 NexTone
- 山口放送株式会社
- 株式会社柚子屋本店
- 株式会社レノファ山口

地方自治体等との連携（４組）

- 岩国市
- 周防大島町
- 美祢市
- 山口県立総合医療センター

NPO・団体等との連携（４組）

- 一般財団法人たんぽぽの家
- 山口県集落営農法人連携協議会
- 山口ヘルスプロモーションネットワーク
- 山口大学生活協同組合

（いずれも 2021 年度 PBL 実施パートナー）掲載：50 音順

周防大島町

周防大島町をパートナーとするプロジェクトチームは、地方地域における人口減少に歯止めをかけるべく、周防大島町の補助金を受けながら単に移住者の増加を目指すだけではない新たな視点での対策法に取り組みました。周防大島では古くから根付く出稼ぎ文化やハワイ移民の歴史があります。プロジェクトでは、若者が周防大島を離れることは自然な流れであり、それを課題ととらえるのではなく、若者たちが島外で経験を積み、いずれ帰郷して島を活性化する未来像を描きました。国際総合科学部では、多くの学生が在学中に海外に留学しますが、これが発想の起源となりました。

地方地域の人口減少は喫緊の課題として取り上げられますが、即効性のある取り組みだけでは持続性は担保できないと考えました。そこで、子どもたちの地域の誇りや郷土愛が地域との関係人口の増加につながる可能性が高いという先行研究から、子どもたちの自発的な学習を生み出すボードゲームを使った教育教材を開発しました。ゲームを楽しみながら郷土の知識を深めたり、島の良いところや悪いところをお互いに話し合ったりすることで、地域への誇りや郷土愛を育む設計がしてあります。また、子どもたちの島に対する知識や誇り、ゲームの効果を測る調査ツール機能も有しており、コンテンツを変えることで他の地域にも応用できるようになっています。

株式会社三和

国際総合科学部とのPBLも今年で4年目を迎えます。株式会社三和のプロジェクト名は『住まいるプロジェクト』。弊社の課題であるBtoCのビジネスモデルを確立するために、BtoC向けのイベント内容や集客方法等を社員と一緒になって考えてもらいます。学生ならではの独創的な発想には度々驚かされ、感心させられる場面も多々あります。

また、現在の学生がどんなことを考えているのかなど、PBL活動以外でも刺激を受けることができ、弊社の採用活動等にも役立っています。

PBLは、大学の講義で味わうことのできないリアルな職場体験を通じて、学生と企業のそれぞれが新しい価値を創造できる素晴らしい機会だと感じています。学生の皆様もせっかくの機会ですので、単なる単位の一つと考えるのではなく、積極的に参加してプレ社会人を楽しんでください。

㈱サーティファイ

本プロジェクトは、ビジネス著作権検定をはじめとする様々な資格試験を開催している㈱サーティファイをパートナーとして開始しました。課題は、「知財について興味を持つ人を増やす」ことです。

学生たちは、自分たちを「IP EXPLORER(知財ひろめ隊)」と名付け、まず、自らが知財の勉強を始めることにしました。当初、学生メンバーの中で知財が大好きで興味を持っている者はいませんでしたが、知財や法学を学び、判例を読み、徐々に全員が著作権法を面白いと思うようになりました。そして、全員が同社主催の「ビジネス著作権検定」初級に合格しました。

一方で、なぜ知財なのか、なぜ教育なのか、なぜ広める必要があるのかといった問題についても考えました。その結果人々を取り巻く知財が重要であることに気づき、学習者がレベルを選択できる著作権判例をもとにしたｅラーニング教材をつくることを考えました。それは、同じ判例に対して、物語として判例に触れてもらう＜かんたん版＞、広く一般の人に触れてもらう＜普通版＞、そして、実際の判例に触れてもらう＜難しい版＞の三種類となりました。

学ぶ立場だった学生たちが、人にわかるような形で読んだ判例を表現していくことは､簡単ではありませんでした。しかし、何度かの修正の後、IP EXPLORERS はその仕事を全うしました。また、活動を記したカレンダーも作成しました。

トヨタカローラ山口株式会社

本プロジェクトでは、大学生が自動車を気軽に利用するにはどうしたらよいかを研究しています。既存のレンタカーやカーシェアリングの利用は大学生にとってまだ負担感があり、特別なものと言えます。プロジェクトでは、その負担感を軽減し、日常利用の形に近づけないかという問いを立てました。そして、パートナーのトヨタカローラ山口㈱から自動車を提供いただき、期間限定・無償で貸し出すサービスを構築、運営し、実証実験を行いました。

実証実験を行う上で、学生はパートナーに指導してもらいつつ、予約システムや貸し出し・感染症対策のルール、借用書などを作りました。多くの関係者と交渉し､サービスを構築することが如何に大変かを学びました。また、利用者を募るための広告宣伝や営業の方法も学びました。そして、大学生に自動車を利用してもらい、アンケートを取り、その利用実態を分析しました。統計学や社会調査法など学んだ内容を実践し、学問をより深めることができました。

一方でプロジェクトを行うためには様々な壁にぶつかります。利用者が想定の人数に達しないことなどがありましたが、チームワークを重視し､何度も話し合いを重ね、対応を考えました。その結果、貴重なデータを得ることができ、多くの方から良い評価をもらいました。協力し合って困難を乗り越えることの重要性も学ぶことができました。

株式会社レノファ山口

サッカーＪリーグに属するレノファ山口は山口県を代表するプロスポーツチームです。レノファ山口にとっては観戦者の増加やグッズ販売で収益があがることも重要ですが、スポーツを通した地域貢献もチームおよびＪリーグの目標となっています。レノファ山口と協力してこの両方を実現するプロジェクトの企画・実施がこのPBLの役割です。

2020年度は環境問題、特にペットボトルのリサイクルに焦点を当てました。スタジアムで開催される試合ではゴミがたくさん出ますが、その中の一つにペットボトルがあります。ペットボトルはラベルをはがし、ふたを取り外せばリサイクルが可能です。そこで、レノファ山口のサポーターにペットボトルのリサイクル過程について知ってもらい、リサイクル意識の向上を目指すプロジェクトを企画しました。

試合当日にスタジアムにブースを出し、ペットボトルのリサイクルについて学ぶポスターを並べ、サポーターに見てもらいました。多くのサポーターの参加を促すために用意したレノ丸の缶バッチは好評で、さらにペットボトルをリサイクルしたＴシャツを販売することとしました。柄は学生のアイデアで、レノ丸が捨てたペットボトルがリサイクルされＴシャツになる過程を示しました。参加した人へのアンケートの結果、ペットボトルのリサイクルに対する意識の向上が確認できました。

株式会社 QQ English

パートナー企業は、フィリピンと日本をベースに英会話学校を経営するQQEnglishです。初年度は、日本の大学生がフィリピンのNGOで行うボランティア活動の質向上を目指し、フィリピンのセブ島と山口の双方で活動しました。二年目は、＜遊び＞＜食べ物＞をはじめとしたフィリピンの魅力を山口の子供たちに伝えることをテーマとして、山口で様々なイベントを開催しました。そして三年目は、公共機関と、日本にも増えつづける外国人労働者へのインタビューを通して、公共機関が日本・日本語に慣れない人に対して情報をよりよく伝えるために使える「情報発信時のチェックリスト」を作成しています。

コロナ禍の三年目は、オンラインでの活動が中心になりましたが、こうした状況の中だからこそ、より的確に「情報を伝える」ことと、その方法の重要性について、深く思考していくことができたのかもしれません。三年目に作成したチェックリストの一部は今後、現在準備中の書籍にも掲載される予定です。

2022年度入試情報について

総合型選抜（10名）

第１次選抜

調査書、志願理由書、自己PRの他、学部が指定する加点評価項目（英検、TOEIC、GTEC、留学経験、部活動他）による総合評価

※第１次選抜は、志願倍率が３倍以内の場合は実施しません。

第２次選抜

- 面接試験
- 講義等理解力試験

講義（60分）を行い、その講義に関するレポート（50分）を課します。講義の一部では英語を使用し、レポートの一部も英語による回答を求めます。さらに、講義に関連した論題に基づくグループディスカッション（60分）を実施します。これらにより、学部アドミッション・ポリシーへの適合性を計るとともに、理解力、分析力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力、英語力を総合的に評価します。

一般入試（90名）

区分及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等	
	教科	科目名等		教科等	科目名等
前期80名	国	国語		国	国語
	数	数Ⅰ・数A		数	数Ⅰ・数Ⅱ、数A・数B から1科目
		数Ⅱ・数B、簿、情報から１科目			
	外	英、独、仏、中、韓から１科目		外	英語
	地歴	世B、日B、地理B から2科目	❶	その他	「国際総合科学部における外国語検定試験の活用について」（右記）を参照してください。
	公民	現社、倫、政経、倫・政経			
	理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から２科目			
		または物理、化学、生物、地学から１科目			
後期10名	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1科目	❷	その他	小論文★
	公民	現社、倫、政経、倫・政経			面接
	理	物理、化学、生物、地学から２科目			「国際総合科学部における外国語検定試験の活用について」（右記）を参照してください。
		【５教科７科目、６教科７科目、５教科８科目または６教科８科目】			

❶または❷を選択

大学入学共通テストの「公民」においては、１科目のみ選択できます。
❶、❷いずれも該当する場合は、高得点となる方を利用します。
★小論文は、英語で提示することや、また英語で解答させることがあります。

国際総合科学部における外国語検定験の活用について

本学部の入学者選抜は、大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等により行います。また、外国語検定試験を活用し、一定の級またはスコアを取得している者については、下表の３段階の点数を、前期日程では個別学力検査の外国語（英語 400 点満点）の得点として、後期日程は小論文（600 点満点）の得点として、それぞれ満点を上限に加算します。

なお、２０２０年２月以降に受験した結果のうち、１つのみが利用可能です。複数の成績を取得している者については、最も高い換算点に該当するものを提出してください。

個別学力検査における換算点		実用英語技能検定（英検）	GTEC	TOEIC（L&R）	TOEFL iBT	IELTS（アカデミックモジュール）
前期	後期					
30点	60点	準1級以上	1280以上	730以上	80以上	6.5以上
20点	40点	–	1110以上	600以上	65以上	5.5以上
10点	20点	2級	940以上	460以上	45以上	4.0以上

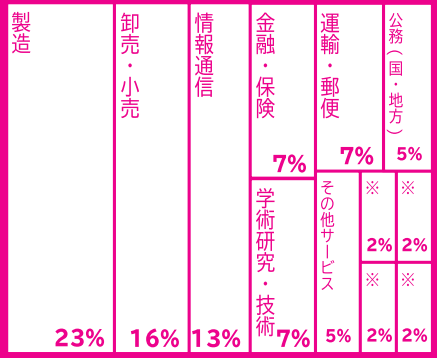
提出書類

- **実用英語技能検定（英検）**：合格証明書
- **GTEC**：OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
- **TOEIC** (L&R)：Official Score Certificate（公式認定証）
- **TOEFL** iBT：Official Score Report
- **IELTS**（アカデミック・モジュール）：成績証明書（Test Report Form）

2019 年度卒業生就職状況

国際総合科学部では、プロジェクト型課題解決研究、グローバル・インターンシップ演習など、課題解決能力を修得する科目を通じて企業との関わりを深めています。就職活動が本格化する前に企業の考え方を学ぶことができるため、就職先の決定に大変役立ちます。また、本学部では就職支援部会を組織し、個別面談対応など、きめ細やかなサポート体制で学生の就職活動を支援しています。

業種別割合（1%以下は除く）



就職先一覧

掲載…企業・官公庁ごとに 50 音順

（株）アドバンスクリエイト、（株）ECC、医療法人警和会大阪警察病院、（株）インターグループ、（株）ヴァリアス・ディメンションズ、（株）ウインウイン、エイキット（株）、鹿島建設（株）、（株）ガスパル中国、カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）、川崎重工業（株）、（株）キース、（株）北川鉄工所、キヤノンマーケティングジャパン（株）、ＫＲＹ山口放送（株）、（株）ゴールドウイン、（株）コスモス薬品、（株）サカイ引越センター、（株）サンレー、（株）三和、（株）ジェイ・エス・ビー、JFE システムズ（株）、敷島製パン（株）、ジャパンシステム（株）、（株）シュクレイ、鈴与（株）、（株）スターフライヤー、住友金属鉱山（株）、（株）ゼウス・エンタープライズ、（株）セコマ、（株）セリア、（株）ゼンショーホールディングス、全日本空輸（株）、ソリューションサービス（株）、太平洋セメント（株）、（株）太陽家具百貨店、（株）タガヤ、タリーズコーヒージャパン（株）、デサントジャパン（株）、（株）トクヤマ、（株）ナースステージ、西日本鉄道（株）、（株）西原商会、日鉄鉱業（株）、日本 NCR（株）、日本電気（株）、（株）ネオキャリア、パーカー熱処理工業（株）、（株）パズル、羽田空港サービス（株）、（株）ビューテックス、（株）広島銀行、広島トヨタ自動車（株）、（株）ファーストリテイリング、富士通（株）、富士電機（株）、不二貿易（株）、（株）不動産 SHOP ナカジツ、（株）船井総合研究所、（株）BearTail、（株）マイティーエース、丸紅セーフネット（株）、（株）丸和運輸機関、みずほ証券（株）、（株）ミスミグループ本社、（株）宮崎銀行、安田工業（株）、山口県立病院機構、（株）山口フィナンシャルグループ、（株）ユタカ技研、（株）LASSIC、（株）ローソン、（株）ロマンス小杉、岩国市、広島県、法務省、山口県

就職情報について

卒業要件

以下の要件すべてを満たすこと。

I. 規定に基づいた単位（**125 単位**）を修得すること

II. 外国語の試験において以下のいずれかを満たすこと

1. 英語で **CEFR ※の B2** レベル（英検準 1 級レベル）に準拠した成績を修めること

2. 英語で **CEFR の B1** レベルに準拠した成績を修め，かつ，英語以外の外語で所定の成績を修めること

III. 授業の成績から算出される個人スコアが学部の定める要件スコアを満たすこと

※ CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）…外国語学習者の言語能力を評価する国際指標。

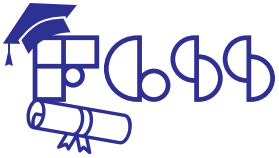
※各試験，検定レベルの成績と CEFR のレベル対象関係については，別に定める。

インターンの声

株式会社 ファーストリテイリング

2017 年入学　山田 千晶

インターンを通じて、「情報を取りに行く力」「自ら考え、その考えを伝える力」「アドバイスを素早く吸収し、次に活かす力」が重要であると痛感しました。言葉で表すのは簡単ですが、これらを同時かつ完璧にこなすことは想像以上に難しいです。今回得た学びを日常生活において実行・実践していくことで、さらなる自身の成長に繋げられるのだと思います。一ヵ月という短い間でしたが、実際に世界を相手にご活躍されている方々にお会いし、新たに得た、「働く」ことに対する考え方は、自分の将来を考えるにあたり、貴重な経験になりました。



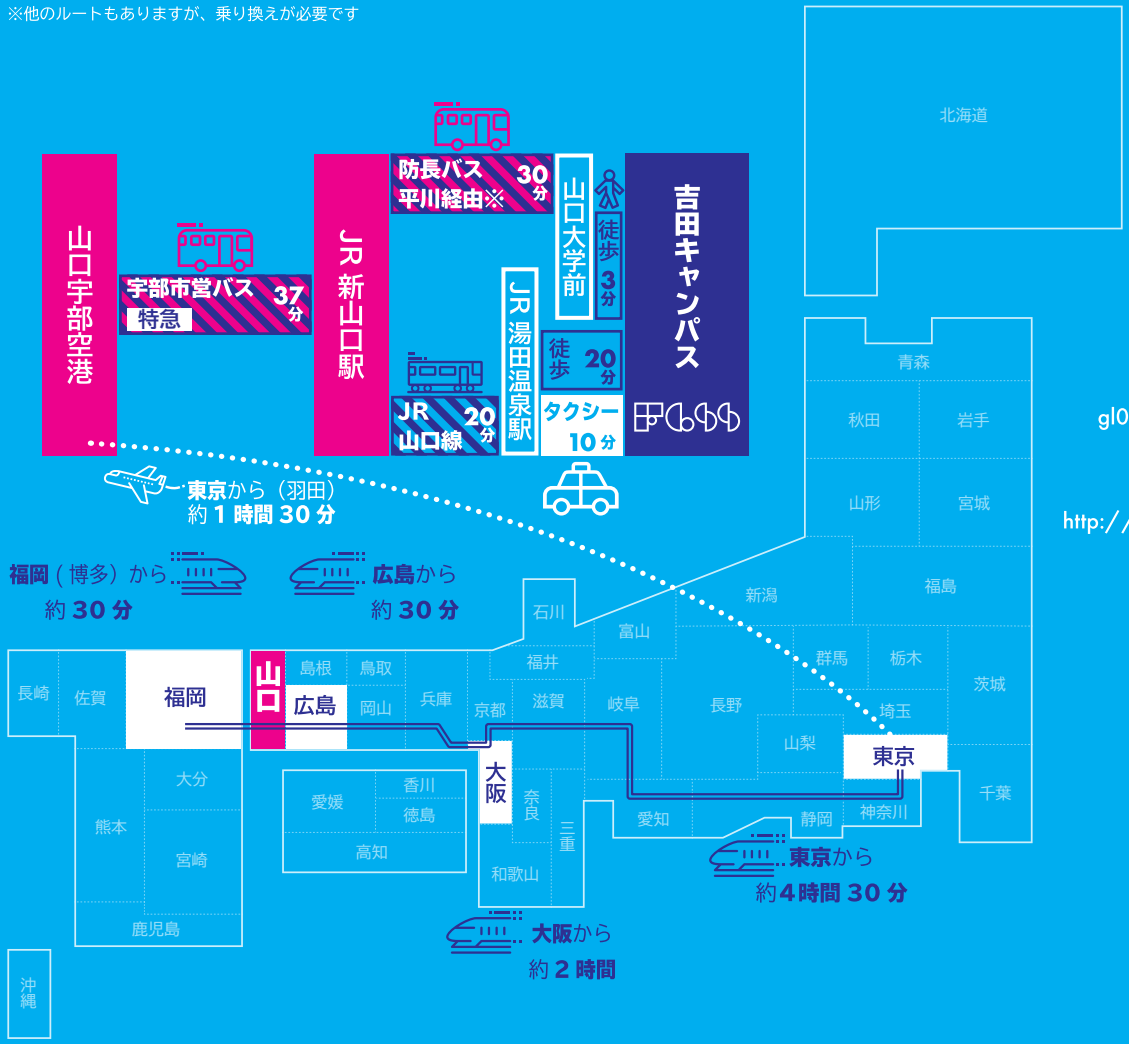
卒業生の声

株式会社トクヤマ TOKUYAMA CORPORATION

2019 年卒業　清水こみゆ

私は経営管理に所属し、ものづくりの最前線で活躍している方々のサポートをしています。仕事をしていると、様々な問題に直面し、それらに対し迅速に対応することが求められます。その際、問題の本質は何かを考え、それに対する課題解決のアプローチをいくつか試行し最適解を探し出すというデザイン科学の方法はとても力を発揮します。また、留学で得たコミュニケーション能力や適応力、グループワークにより培われた協調性も、職場の皆さんと良好な関係を保ちながら、楽しく仕事を進めて行く上で、とても役に立っています。

※他のルートもありますが、乗り換えが必要です



山口大学
吉田キャンパス

〒753-8541
山口県山口市
吉田 1677-1

代表電話
083-933-5213

メール
gl004@yamaguchi-u.ac.jp

Web サイト
http://gss.yamaguchi-u.ac.jp

アクセス・交通案内・お問い合わせ

gss.yamaguchi-u.ac.jp

YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

www.yamaguchi-u.ac.jp